



5月に入って、まるで真夏のような日があったり、肌寒い梅雨寒のような日があったりと、従来の季節感が失われるような、体調管理も難しい日々です。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

今回の巻頭写真は、散歩中にスマホで撮った一枚です。‘染井吉野’に実った可愛い実です。サクランボ(?)ということですね。何度も確認しましたが、‘染井吉野’です。桜並木の複数の木に実がなっていました。

帰宅後調べてみたところ、‘染井吉野’は結実しないと

というのは、間違いということらしい。大島桜や江戸彼岸桜などの他の品種の桜との間では受粉し、結実するそうで、その木は‘染井吉野’とは違う形態の花が咲くそうです。現在僕らが目にする‘染井吉野’は接木で増殖された園芸品種ですが、気象庁が観測している全国の‘染井吉野’をDNA分析したところ、全て同じクローンであったそうです。日本全国にはひとつのクローンの‘染井吉野’が植栽されていると思うと驚きです。しかし農業では、クローン増殖は珍しいことではなく、例えばりんごやナシなどは接木で増殖されるクローン増殖の技術ということでした。と仕入れたばかりの小ネタでしたが、自分の無知に今更ながら驚いています。

さて遅くなりましたが、7月の確定表をお送りします。今年の夏も、昨年を超えるかもしれない暑い夏が予想されます。標高や沢沿いのルートなど少しでも暑さを和らげそうなコースを選びました。

まずは赤城自然園です。赤城山麓の標高600~700mに広がっています。樹林も多いので暑さも凌げるでしょう。お目当てはシキンカラマツです。とても綺麗な花です。今年の7月の目玉は、尾瀬です。尾瀬沼湖畔に1泊して湿原巡りを楽しみます。ニッコウキスゲの群生を期待しています。7月の後半は、沢沿いのコースで多少なりとも暑さを和らげることができるでしょう。イワタバコシリーズです。追加で、8月の乗鞍岳を先行で掲載しました。1泊プランです。北アルプスの3,000mの風を感じながら歩きたい。

尾瀬と乗鞍岳は、山小屋の予約の都合上、お申込みの締め切りと、人数の制限がありますので、ご注意ください。

ところで、高市首相です。国論を二分する政策に取り組むと意気込んでいます。アメリカによって引き起こされたイラン危機に直面している中、改憲や国旗損壊罪など今私たちが直面している困難とは相当かけ離れたところに執着しているように感じています。緊急事態条項(=戒厳令)を憲法に入れる必要があるとは思えないどころか、危険ですらあると感じています。いまの高市首相からは、誰もができなかった改憲を自分の手でやりたいという改憲ありきの野心しか感じません。戦後80年余り、平和な日本をささえ、権力者の野望の手を押さえてきた平和憲法が、国民を管理する「憲法」に改変されてしまうのではないかという恐ろしさを感じています。

それでは皆さん、また山でお会いしましょう！